
「ガクゲイのトビラ」
～一生モノの「好き」が世代をつなぐ～

寄付趣意書



京都市教育委員会

ごあいさつ

京都市教育委員会では、過去2年間、文部科学省の委託を受け、藍染めや和ろうそく、清水焼などの職人の方のもとで子どもたちが学ぶ取組を行ってきました。参加した子どもたちには、当初、緊張や不安な様子が見られましたが、そこで出会った大人との関わりを通して、初めて知る匠の技に目を輝かせ、次第に積極的になっていました。

また、職人の方(大人側)も、子どもと共に過ごす時間を楽しみ、ご自分の仕事や「技」の魅力を若い世代に伝える喜びを感じておられ、「子どもたちとの出会いに感謝している」「子どもたちと過ごした日々が終わることが寂しい」という声をいただきました。

こうした取組を通し、私たちは、技術・技芸を持ち周囲を引き付けるような方々、すなわち学藝衆と子どもたちの出会いには、子ども自身と社会が直面する課題を乗り越えていける可能性があると感じました。

つまり、子どもたちにとっては、直接その「仕事」に触れることで、世の中には多様な生き方があることや、自分の「好き」を大切に、その道を究めようとしている素敵な大人がいることを知り、自分たちの世界が広がるきっかけに繋がること、そして、職人の方(社会)にとっては、恒常的な後継者不足・育成の課題解決の糸口となるという、双方に価値を生む可能性です。

今年度、私たちは、皆様からのご協力を賜りながら、過去2年間を通してのこうした手ごたえをもとに、まず不登校を経験した子どもたちが通う京都市立洛風中学校の生徒たちを対象に、6人の学藝衆との出会いの場を設けたいと考えています。更には、こうした取組を広げていくことにより、全ての子どもたちが希望をもって未来に羽ばたくことができるような、社会全体の“うねり”を作っていくことを目指します。こうした継続的な取組を通じて、私たちは、子どもたちの「今」から「未来」を、よりよいものに変えていきたいと思っています。

このプロジェクトは、レールのない人生を歩みながら、自分の「好き」を大切に、自分を「好き」でいる大人との出会いの機会を創出することにより、子どもたちが一生モノの「好き」を見つけ、自分らしさを認める自信を育むことを目指します。皆様からのご寄付が、子どもたちと大人の出会いの場を広げ、京都と日本の未来をつくる力となります。

温かいご支援、どうぞよろしくお願いいたします。

京都市教育長

稲田新吾

事業概要

1 事業名 「ガクゲイのトビラ」 ～一生モノの「好き」が世代をつなぐ～

2 事業概要

(1)趣旨

子どもたちが自分の「好き」を大切に夢中で仕事に取り組む大人と出会い、その仕事や生き様に触れることを通じて、将来への視野を広げたり、自己肯定感を育んだりする機会を創出する。また、後継者不足が課題となっている伝統産業等の分野に子どもたちが接し、興味関心を持つきっかけとする。

(2)事業内容

下記5の受け入れ先の皆さまを講師とした体験活動講座を実施。それぞれの事業所において、子どもたちが講師との関わりの中で、3～4日程度、仕事を体験し、最後には自分の思いや感性を表現する作品のづくりに取り組む。

(3)対象

不登校を経験した子どもが通う京都市立洛風中学校(学びの多様化学校)に在籍する生徒

(4)実施予定期間

令和7年11月～令和8年2月

3 主催 京都市教育委員会

4 連携団体

株式会社 SPACE(東京都世田谷区北沢 1-19-15-302)

株式会社 よい根(京都市左京区下鴨梅ノ木町 10 番地 1)

株式会社 SOU(京都市上京区相国寺643-6 風良都館3F)

5 協力いただく受け入れ先の皆さま(令和7年度の予定)

 <p>京藍染</p> <p>22歳の時にNYで藍染に出逢い、帰国後に愛媛県西予市で養蚕から手織り、和裁までを一貫して学ぶ。京藍染の職人とアーティストとして活躍。</p>  <p>京藍染師 松崎陸</p>	 <p>清水焼</p> <p>100年以上の歴史を持つ窯元「紅村窯」で伝統のうつわを受け継ぎながら、「土鉄(つちばさみ)」という装飾技法でオリジナルの作品作りに携わる。</p>  <p>紅村窯 林侑子</p>
 <p>和ろうそく</p> <p>伝統の和ろうそくを守るため、燻(はぜ)の栽培と蠟づくりを続ける和ろうそく職人。和ろうそく文化継承のため、栽培にも力を入れ、京都で燻の復興に尽力している。</p>  <p>中村ローソク 田川広一</p>	 <p>ネイリスト</p> <p>ネイルを通じて一人ひとりの個性を引き出し、難民支援など社会活動にも取り組むネイリスト。美とケアを重ね合わせた表現を広げている。</p>  <p>マニネイル 久賀田有紀</p>
 <p>リメイクアーティスト</p> <p>使われなくなった布や衣服に新しい命を吹き込み、バッグや小物、アート作品へと生まれ変わらせ、サステナブルな暮らしを実践型で展開している。</p>  <p>森 青山千夏</p>	 <p>コピーライター</p> <p>言葉の力で人と人、地域と世界をつなぐコピーライター。広告や商品紹介だけでなく、「想いを言葉にする」ことで、多様な人々のストーリーを社会に届けている。</p>  <p>おいかげ 柴田明</p>

寄付募集

1 寄付の目的

「ガクゲイのトビラ」～一生モノの「好き」が世代をつなぐ～事業の実施にかかる費用

2 寄付目標金額

5,000,000円

3 資金の使い道

(1)受け入れ先への謝礼金

受け入れ先の方々に、子どもたちの指導と安全な体験環境の提供をお願いするための謝礼金です。本格的な技術指導や専門知識の共有など、質の高い学習機会を提供していただくために必要な費用です。

(2)体験活動の材料費

染物の染料、絵画の絵の具、科学実験で使う試料など、子どもたちが実際に「ものづくり」を体験するための材料費です。見学だけでなく、実際に手を動かして学ぶことで、より深い理解と感動を得られます。

(3)サポートスタッフの人件費

不登校を経験した子どもたちが安心して活動できるよう、専門的な知識を持つサポートスタッフが同行します。中間支援団体から派遣されるスタッフが手厚くサポートし、子どもたちの心のケアと安全確保のために必要な人件費です。

※目標金額に達しなかった場合も、集まった寄付金をプロジェクトに活用させていただきます。また、目標金額を超えた場合等には、京都市教育委員会が管理する基金(京都市教育振興基金)に積み立て、次年度以降の子どもたちの体験活動に活用いたします。

4 募集期間

令和7年9月10日～令和8年3月31日

5 寄付の控除等

(1)個人

寄附額のうち2,000円を越える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除されます(控除される金額には、収入や家族構成に応じて一定の上限があります)。

(2)本社が京都市外にある企業等の法人

本社が京都市外にある企業等の法人の10万円を超える寄付については、企業版ふるさと納税の対象となるので、損金算入による軽減効果(寄附額の約3割)と合わせて、最大で寄附額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担が約1割にまで圧縮されます。

(3)本社が京都市内にある企業等の法人

本社が京都市内にある企業等の法人の寄付については、企業版ふるさと納税の対象となりませんが、寄付は全額損金算入できますので、寄附額の約3割の軽減効果があります。

6 寄付の窓口

(1)個人



<https://furusato-forgood.jp/projects/000358>

(2)本社が京都市外にある企業等の法人

以下のいずれの窓口でもご寄付いただけます。



<https://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000345372.html>



<https://furusato-forgood.jp/projects/000358>

(3) 本社が京都市内にある企業等の法人



<https://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000345372.html>

7 その他

この寄付に対しての返礼品はありませんが、体験活動の終了後、ご寄付いただいた方には、参加した子どもたちの様子等をお伝えする報告書をお送りいたします。

お問い合わせ先

京都市教育委員会事務局指導部生徒指導課

「ガクゲイのトビラ」担当

(担当: 渡邊、藤元、長谷川)

TEL (075)213-5622

E-Mail seishi@edu.city.kyoto.jp

